

令和八年第四回薩摩川内市議会定例会 施政等の概要

令和八年第四回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、六月二十四日の線状降水帯の発生に伴う大雨により被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。本市では、被災された皆様に寄り添いながら、一日も早い生活再建に向け、全力で支援と復旧に取り組んでおります。また、地区コミュニティ協議会や自治会、社会福祉協議会をはじめとする多くの皆様による献身的な活動は、本市の大きな強みであり、災害時には地域の共助を支える重要な力となっております。こうした力こそが、本市の誇るべき財産であると改めて実感したところであります。

さらに、先月二十八日十六時二十七分、熊本県熊本地方を震源とする大きな地震が発生しました。令和八年熊本地震により、また、今月十三日から十四日にかけての令和八年八月千葉豪雨によりお亡くなりになられた皆様に、心から哀悼の意を表しますとともに、被災されました全ての皆様にお見舞い申し上げます。

熊本地震におきましては、本市においても、最大震度五強を観測しましたが、幸いにも大きな人的被害はありませんでした。一方で、市内の住家において、半壊が二棟、軽微な破損が八棟確認されており、現在も調査・対応を継続しているところであります。

なお、市役所につきましては、本庁舎本館と別館の接続部にあるエキスパンションジョイント等の破損はあったものの、庁舎本体への被害はありませんでした。

地震発生後は、直ちに災害警戒本部体制をとり、災害警戒本部会議・危機対応総合会議を開催するなど、警戒対応に当たりました。また、今月四日には広域大規模災害支援対策会議を開催し、被災地支援に係る情報共有を図りました。消防局、水道局、建設部や、対口支援による職員派遣のほか、トイレカーの派遣、義援金箱の設置、避難者の受入れ支援、被災自治体へのふるさと納税に係る寄附金の代行受付など、被災地及び被災者の支援に、全力で取り組んでいるところであります。

なお、これらの支援に係る経費につきましては、会期中に補正予算案を追加提案させていただく予定でありますので、御了承を賜りたいと存じます。

被災地の日も早い復旧・復興を心より願うとともに、引

き続き、いつ起きるか分からない災害への備えに関する周知・啓発を強化し、適時・的確な情報提供や防災体制の強化に努めて参ります。

このような中、災害時における避難環境の向上と避難所機能の強化を図るため、先月十六日、一般財団法人住宅都市工学研究所と「災害時における組立式空気清浄機の優先的供給及び設置に関する協定」を締結いたしました。避難所における感染症対策や空気質改善を目的としたものであり、この目的での協定締結は九州では本市が初めてとなります。

また、同月二十四日には、薩摩川内市電設協会と「指定避難所における停電対策等の支援に関する協定」を締結いたしました。本協定により、災害による停電時における指定避難所への簡易照明器具等の設置や発動発電機等による電源の確保など迅速な支援体制の確保を図って参ります。

なお、今月六日には、台風十三号への対応として危機対応総合会議を開催し、市民への注意喚起を行いました。

今後も、関係機関との連携を強化し、災害に強く、誰もが安心して避難できるよう防災体制の構築に取り組んで参ります。

先月八日から今月五日まで、市民と市長との対話の場として各地区コミュニティ協議会との共催により、令和コミュニティトークを市内五エリアで六回開催しました。本事業では

各地区コミュニティ協議会からの活動状況や重点事業の御報告とともに、市政の動向に関する説明や地域課題等に関する意見交換・フリートークを実施しました。なお、熊本地震の影響で延期いたしました川内南エリアにつきましては、来月十四日に開催する予定としております。

また、本年度は、各会場において、私から川内原子力発電所の使用済燃料の乾式貯蔵に関する説明を行っております。

なお、私は、乾式貯蔵に関する理解を深めるため、今月十四日、茨城県東海村にある東海第二発電所の乾式貯蔵施設を視察し、施設の構造や運用状況、乾式キャスクの安全機能、使用済燃料の管理状況等について説明を受け、乾式キャスクの保管状況など実際の施設内部を確認いたしました。

今月十七日に県原子力安全対策連絡協議会において、また、二十一日に市原子力安全対策連絡協議会において、熊本地震の発災等を踏まえて、九州電力株式会社に対して、安全確保を最優先とした運転管理の徹底と、市民の皆様に対し丁寧な説明を行うこと、また、国に対して、厳格な審査・監視・指導を実施されるよう要請いたしました。

さて、本市の将来発展に欠かせない社会基盤整備につきましては、第三次薩摩川内市総合計画において基幹道路として位置付けている南九州西回り自動車道につきましては、芦北

出水道路の令和十年度開通が示されており、残る未整備区間は、阿久根川内道路のみとなっております。このような中、私は先月十三日に熊本・鹿児島両県の沿線自治体の首長・議長等で構成している南九州西回り自動車道建設促進期成会の会長に就任し、同月二十七日には、国土交通省で金子恭之国土交通大臣に、財務省では、新川浩嗣財務事務次官に対し要望を行いました。今後に残されたミッシングリンク（未開通区間）である阿久根川内道路の早期完成に向け、関係自治体や関係機関と連携しながら、市議会の皆様と共に積極的な要望活動に取り組んで参ります。

さらに、道路網の整備と併せて、本市の物流・産業基盤を支える重要港湾川内港に関しては、先月十五日、川内港整備促進期成会により藤井寧国土交通省九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所長に対し、川内港の着実な整備推進について要望を行いました。引き続き、川内港を利用する荷主、船社、荷役業者及び経済団体の皆様と一体となって、国・県に対して、早期整備及び港湾施設の充実を強く要望して参ります。

また、同日、川内市街部改修促進期成会により原田隆二国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所長に対し、川内川の川内市街部改修事業等の推進について要望を行いました。

このような交通・物流基盤の充実を背景として、本市の新たな産業振興や地域経済の活性化に関する取組も着実に進展しております。

本年二月にＡＩデータセンターの早期開設に関する覚書を締結しているカイシンデジタルインフラストラクチャー株式会社と、先月十八日に立地協定を締結いたしました。同社から示された計画は、本市サーキュラーパーク九州敷地内において、実証運用から開始した後、段階的な拡張により、国内最大級となる累計三百五十メガワット規模のＡＩデータセンターを整備するものであり、関連投資を含め約二兆八千五百億円投資が見込まれています。

本市といたしましたしては、この立地を契機に情報サービス産業や関連産業の立地・集積を促進し、地域経済の活性化や雇用創出につなげ、その成果を市民の皆様還元できるように取り組んで参ります。

なお、サーキュラーパーク九州敷地周辺の（仮称）唐浜産業用地について、今月十八日から十月三十日まで、企業の進出意向等を確認する市場性調査を実施しております。

先月二十二日には、ＡＩデータセンター集積を見据えた地域共創連携協定を本市、国立大学法人鹿児島大学、九州電力株式会社、ソニーネットワークコミュニケーションズ株式

会社の四者で締結いたしました。各機関が有する知見や資源を結集し、デジタルインフラと資源循環による環境と経済の好循環を創出し、持続可能な地域モデルの実現を目指して参ります。

こうした地域発展に向けた取組を着実に進めるため、昨日八月二十四日、下園政喜市議会議長と共に、塩田康一鹿児島県知事に対し、「ＡＩデータセンターの開設に向けた準備が進められている川内港背後地整備に関する支援」を含め、原子力発電所の安全確保と防災体制の確立、重要港湾川内港の機能充実、甑島圏域における医療の確保及び医療体制の充実、医療的ケア児等への短期入所支援の創設、県道等の整備、県管理河川の整備促進及び維持管理の充実をはじめとする国・県事業の実施に関する二十六項目について要望を行ったところであります。

先月二十四日には、工業製品等の保管・輸送事業を行っている株式会社ロジステックネットワークと倉庫増設に係る立地協定を締結いたしました。今後十人の新規雇用が見込まれており、更なる地域経済の浮揚を期待しております。

また、地域経済の活性化に加え、将来にわたり持続可能な財政運営を進めるため、先月二十八日、未利用市有地の有効活用と自主財源の確保を図ることを目的として、公益社団

法人鹿児島県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会鹿児島県本部と「薩摩川内市有地売却の媒介に関する協定」を締結いたしました。両団体が有する広範な民間不動産ネットワークを活用することにより、市有財産の売却推進を図るとともに、民間活力を生かした有効活用につなげ、自主財源の確保に取り組んで参ります。

農業に関しましては、先月二十五日、入来町のぶどう園において開催された薩摩川内市ぶどう部会鉢入式に出席いたしました。本市は、生産量が県内一位、栽培面積が県内二位の実績を誇る県内有数のぶどうの産地であります。燃料をはじめとする生産資材価格の高騰や、生産者の高齢化などの厳しい状況の中ではありますが、新たな担い手の育成等に積極的に取り組みながら、本市農業の更なる振興を図って参りたいと考えております。

また、本市の魅力発信と交流人口の拡大につながる取組として、今月九日から十五日までの七日間、バレーボール男子日本代表Aチームの合宿が行われ、期間中の十一日には歓迎式を開催いたしました。なお、十一日、十二日、十五日には、公開練習が行われ、市内外から多くの来場者が訪れ、大きなにぎわいを見せました。世界を舞台に御活躍されるトップアスリートの皆様を本市にお迎えできたことを大変誇りに思

います。今回の合宿による成果を十分に発揮され、来月福岡県で開催されるアジア選手権で優勝し、二〇二八年ロサンゼルスオリンピックの出場権を獲得されることを市民の皆様と共に願っております。

さて、議員報酬に係る特別職報酬等審議会への諮問につきましては、今月十日、社会経済情勢や物価水準、地方議会を取り巻く環境の変化等を総合的に勘案し、検討していただくため、同審議会を設置し、市議会議員の報酬等について諮問いたしました。現在、慎重な審議が進められているところでございます。

次に、今回の補正予算案について御説明いたします。

今回の補正予算案は一般会計において、十八億三千七百八十七万二千円の増額補正を、四特別会計において、一億五百八十九万一千円の増額補正を、また、三公営企業会計に係る補正を提案したものであります。

一般会計につきましては歳出において、六月二十四日から大雨災害に伴う復旧等に要する経費を増額したほか、水道基本料金の減免期間の二箇月間延長に要する経費を計上しております。

また、職員異動等に伴う給与費関係の調整を行うとともに、前年度繰越金の確定に伴う財政調整基金への法定積立の増額

等を行っております。

歳入においては補助事業等の内示等に伴う国県支出金及び市債等を調整したほか、繰越金の増額などを行っております。

特別会計につきましても一般会計と同様に職員給与費関係の調整を行っているほか、天辰第二地区土地区画整理事業特別会計では、移転補償等に係る経費の計上を行っております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定についてをはじめとする各議案について御審議をお願いしておりますが、会期中に令和七年度各会計決算に係る認定議案、人権擁護委員候補者の推薦に係る議案等を追加提案させていただく予定でありますので、御了承を賜りたいと存じます。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。